

様式第1-I号（第3条関係）

2020年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト  
「中小企業等IoT・AI・ロボット導入支援事業」  
補助金交付申請書

公益財団法人新産業創造研究機構 理事長 様

2020年6月5日

着色している欄が記入箇所です。

住所

神戸市中央区港島中町6-1  
神戸商工会議所会館4F

団体名

株式会社 アイオーティーロボット

代表者名

代表取締役 ○○ ○

印

2020年度において、**XXXX生産プロセスへのIoT・ロボット適用**  
事業を下記の通り実施したいので、補助金 **¥1,000,000**  
を交付願いたく補助金交付実施要領第3条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1. 事業の内容及び経費区分

別記収支予算書(p.2) および補助事業計画書 (p.3-5)による

2 事業の着手予定年月日

2020年7月1日

事業の完了予定年月日

2021年2月26日

3 添付書類

調査確認書

兵庫県「ひょうご次世代産業高度化プロジェクト」への参加申込書コピー

補足資料（提出任意、10頁以内）

補助事業計画書を補足するもの。主たる支出項目の見積書、カタログ写し、見積書。

直近2期決算書

会社案内もしくはこれに準じるもの

↓ 申請書に関わる問合せ先を記入

連絡先	〒	650-0046
住所	神戸市中央区港島中町6-1 神戸商工会議所会館4F	
会社名	株式会社 アイオーティーロボット	
所属	生産技術部	
担当者名	○○ ○○	
電話	078-***-****	
Email	dddd@kkkk.co.jp	

別記

収支予算書

1. 収入の部

科目	予算額	摘要
自己資金	¥1,340,000	
補助金 (A)	¥1,000,000	補助金申請額
計	¥2,340,000	

2. 支出の部

科目	予算額	摘要
①人件費	¥900,000	予算計画書(p.4より)
②補助対象の事業費	¥300,000	予算計画書(p.4より)
小計 (①+②) 補助対象経費 (B)	¥1,200,000	
③補助対象外の事業費	¥1,140,000	予算計画書(p.4より)
合計 (①+②+③) 総事業費 (C)	¥2,340,000	

(注) 収支の額はそれぞれ一致する

補助上限額の選択(D)	¥1,000,000
必要雇用人数(E)	1

補助金申請要件のチェック	判定 (すべて○)
補助金申請額(A) <= 補助対象経費(B)	○
補助金申請額(A) <= 総事業費(C) ÷ 2	○
補助金申請額(A) <= 補助上限額(D)	○
雇用計画(F) p.3 >= 必要雇用人数(E)	○

(別紙)

補助事業計画書

1. 補助事業の目的・内容・期待効果

目的 解決する課題	○製品製造工程でボトルネックとなっている△△ラインを構成する4台の××設備の出来高向上。  40文字×4行以内で記入して下さい。
補助事業の実施内容	IoTデータ収集機器(A社製BB-BB)を導入し、4台の××設備のPLCから稼働情報(当日の製品出来高、サイクルタイム、設備状態(稼働・停止・異常))をモニタリングする。採取したデータをリアルタイムで工場内ディスプレイに表示すると共に、クラウド上に保存し、遠隔地の事務所で稼働状態の把握と内PCにデータを保存システムを構築する。  40文字×6行以内で記入して下さい。
期待効果 事業化計画	XX設備の稼働状況をリアルタイムで把握することで、きめ細かな生産スケジューリングを行うことができ、**%の出来高向上が期待できる。  40文字×4行以内で記入して下さい。
スケジュール	採択日~ 2020.8 IoTデータ機器の選定 2020.9~ 2020.11 IoTデータ機器の購入、設置 2020.12~ 2021.1 立上げ、データ収集確認、収集データに基づく改善活動、

2. 雇用計画と申請時点での実績

雇用時期	人数(正規)	内訳(業務内容、技術職・事務職の別等)
2020年度雇用済	1	申請時点で雇用済社員は雇用者リストに記入する
2020年度計画	0	
2021.4-6計画	1	新卒、エンジニア
合計(F)	2	

雇用者リスト

イニシャル	性別	年齢	中途・新卒	雇用形態	入社日	勤務地	職種
M G	男	31	中途	正規	2019.4.1	神戸市	エンジニア

3. その他の情報

技術分野(選択)	IoT	業種(選択)	はん用機械器具製造業(25)
タイプ(選択)	搭載製品開発	事業実施場所	神戸市
資本金(円)	¥10,000,000	従業員数(名)	100
前年度売上(円)	¥200,000,000	前年度経常利益(円)	¥18,000,000
前々年度売上(円)	¥180,000,000	前々年度経常利益(円)	¥5,000,000

4. 予算計画

予算計画書

(単位：円)

番号	経費区分	補助事業に要する経費 (税込み)	経費の内訳			内容 人件費や補助対象の事業費の消費税分を記載
			人件費 (税別)	補助対象の事業費 (税別)	補助対象外の事業費	
1	人件費 (担当者給与)	¥800,000	¥800,000	税抜き額		担当者 A 20万/月×4か月
2	人件費 (謝金)	¥27,500	¥25,000		¥2,500	アドバイザー謝金 (1日分)
3	人件費 (旅費)	¥82,500	¥75,000		¥7,500	仕様調査の出張 (交通費、関東×2回)
4	補助対象事業費 (サービス利用費)	¥110,000		¥100,000	¥10,000	クラウドサービス利用料 (7月~1月分)
5	補助対象事業費 (外注費)	¥220,000		¥200,000	¥20,000	表示画面作成外注費
6	補助対象外の事業費 (備品費)	¥880,000			¥880,000	IoTデータ収集機器, ディスプレイ (見積書添付)
7	補助対象外の事業費 (工事費)	¥220,000			¥220,000	データ収取ケーブル敷設 (見積書添付)
8		¥0				消費税込みの金額
9		¥0				
10		¥0				
	合計	¥2,340,000	¥900,000	¥300,000	¥1,140,000	
			①	②	③	← p.2 収支予算書 支出の部へ転記

事業説明書（1頁以内で記入して下さい）

**1頁の範囲内で事業の説明を行ってください。**

**内容が判りやすいように、図、写真等をはりつけていただいても大丈夫です。**

# 「中小企業等IoT・AI・ロボット導入支援事業」

## 調査確認書

申請にあたって、以下の通り調査に回答します。

- 1 事業年度中、および事業年度終了後3年の間、（公財）新産業創造研究機構が行う本事業に関わる調査（被雇用者の氏名、生年月日、雇用条件等個人情報を含む場合がある）に協力できる。

回答→ はい

はい、いいえから選択

- 2 補助事業の途上又は終了後に、NIRO又は兵庫県が刊行又はインターネットで公開する「事例集」等に事業の要旨を公開可能である。また、NIRO又は兵庫県が主催又は共催、後援する発表会、セミナー等において、補助事業で実現したIoT・AI・ロボットの適用事例の発表が可能である。

回答→ はい

3. 以下の事項にすべて該当する。

回答→ はい

- ① 雇用保険適用事業所の事業主であること。
- ② 厚生労働省が実施している雇用関係助成金について、不正受給をしてから3年以内または、申込み以後、事業開始日までの間に不正受給をした事業主でないこと。
- ③ 労働保険料を滞納している事業主でないこと
- ④ 申請日の前日から過去1年間に労働関係法令の違反を行っている事業主でないこと。
- ⑤ 性風俗関連営業、接待を伴う飲食等営業、又はこれらの営業の一部を受託する営業を行う事業主でないこと。
- ⑥ 暴力団と関わりのある事業主でないこと。

2020年6月5日

企業名 株式会社 アイオーティーロボット

代表者 代表取締役 ○○ ○ **印** 印